

## 0. はじめに

- 第 38 回全国共済セミナーへご参加いただきありがとうございます！
- この「学びの進め方ガイド」は、第 38 回全国共済セミナーに参加する(会員生協での学習会を行う)にあたって「これを見れば、共済セミナーの学習が進められる」というガイドブックになっています！
- 自大学生協や自分の地域で、学習会の計画の際や、実際に学びを進める際に参考にしてください！

## 1. 準備・申し込み編

### ① ブロックから発信されている参加申し込みフォームに回答しましょう！

→参加者全員分のお名前を記入していただくことになりますので、会員生協での参加者集約をお願いします。  
 ※フォームの URL はブロックによって異なりますので、ブロック事務局からの発信物をご確認ください。

### ② 学びの動画・企画資料(企画書・PPT・ワークシート)を準備しましょう！

→動画は「全国大学生協連学生委員会」の YouTube アカウントにアップロードされています。  
 セミナーNews の当日携帯版にも URL を記載していますので、確認して参加する皆さんへ周知しましょう！  
 →企画資料は、全国大学生協連の「スタッフオンリーページ」にアップロードされています。  
 「第 38 回全国共済セミナー」のボタンから、各企画の資料がアップロードされているページを見ることができ  
 ますので、そちらから資料をダウンロードして学習会の際にご活用ください。  
 参加者にも案内しましょう！(ID:univcoop/パスワード:news で入ることができます。)



※ボタンはホームページの下部にあります。



③ 必要物品を確認して、用意しましょう！

物品名	必要個数	備考
三色のペン	参加者人数分	黒・青・赤 (企画8、他で使用)
付箋	たくさん	(企画1で使用)
オンラインで 共同編集できるもの	班の数分	Google Slideや Google Spreadsheet、 オンラインホワイトボードなど または、GLが議事録のようにメモ を取りながら画面共有する (企画1で使用)
模造紙orA3用紙	班の数だけ	(企画1で使用)
企画1のWS	参加者人数分	(企画1で使用)
企画9のWS	参加者人数分	(企画9で使用)

あわせて、分人会の準備も  
お願いします！

以上の画像に書かれているものを、事前にご準備ください！また、参加者にはメモの用意をするように伝えましょう。

2. 学びの実践編

● 学びの内容一覧

企画①	<p>「日常にあるたすけあい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常でたすけた/たすけられた経験は？</li> <li>・もし、たすけあいがなかったらどうなる？</li> </ul> <p>交流を通して、「たすけあい」の意義について深めていきます。</p>
企画②	<p>「たすけあいの広がり∞」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1のたすけあいから、「たすけあいの輪」へ</li> <li>・たすけあいの輪はどのように広がっている？</li> </ul> <p>生活の中でのたすけあいの輪の広がりを実感する時間です。</p>
企画③	<p>「改めて考えるぞ！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生協共済についての説明</li> <li>・なぜ大学生協が共済事業に取り組むのか</li> </ul> <p>アウトプットしながら、大学生協の共済への理解とそれぞれの考えを深めていく時間です。</p>
企画④	<p>「つながる、想い」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生協共済に関わる様々な立場の人を知る</li> <li>・それぞれにできることや、持っている想いを知る</li> </ul> <p>これをもとに、ともにどのようなことを行うことができるのか、それがなぜ必要かを考えます。</p>
企画⑤	<p>「学生の生活実態を掴む！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生活に潜むリスクを「じぶんごと」としてとらえる</li> <li>・大学生活の実態を把握するには？なぜ必要？</li> </ul> <p>自分自身の実感や、給付事例学習会などをもとに大学生活を見つめなおし、組合員の実態をとらえます。</p>

企画⑥	<p>「4 本柱を軸とした取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済活動の 4 本柱が一体なことで、どのようなものか</li> <li>・組合員の健康で安全な生活を支える取り組みのために意識したいことはなにか</li> </ul> <p>取り組みを知り、4 本柱を軸にした共済活動が組合員の健康で安全な大学生活につながることを理解します。</p>
企画⑦	<p>「作ってワクワク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の生活実態をとらえる+4 本柱を意識することを大切に、どんなことを行えるかを考える</li> <li>・企画⑤と⑥で学んだことをアウトプットする</li> </ul> <p>ワークを行い、健康で安全な大学生活を支える取り組みにつなげるためのポイントを再確認します。</p>
企画⑧	<p>「誰がなにをするの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの学びと自分の考えを整理する</li> <li>・想い/取り組みを広げるためにできること、職員と学生がともに頑張ることの意味を考える</li> </ul> <p>共済セミナーの学びを取り組みへつなげてたすけあいの想いを広げていくために大切にしたいことを確認します。</p>
企画⑨	<p>「自分の想いを持ち帰ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自大学生協で取り組みたいことを考える</li> <li>・それが共済セミナーで得たものとつながっているか確認する</li> </ul> <p>第 38 回全国共済セミナーの学びを取り組みにつなげ、大学生協全体で取り組んでいくための準備をする時間です。</p>

● 自大学生協での学習会を行うときの注意事項

★会員生協内で幅広く参加を募って、ぜひ学生委員・アドバイザー・職員と一緒に学習会を行いましょう！

①まずは、企画書を確認しましょう！

→企画書に、企画ごとのタイムテーブルや GW などが記載されています。必ずご確認の上、企画を進めてください！

→グループワークを進める前に、グループ分けを行い、進行役を進行役の方は、各時間の企画書を見て、「6. グループワーク詳細」「8. グループリーダーの役割・動きなど」を確認してください。ワークの中で行うこととその説明、ポイントが書かれていますので、それにしたがって学びを進めてください。

②グループワークの際には、動画をいったん停止しましょう

→すべての時間でグループワーク(意見交流など)が設定されています。動画の途中でその時間がはさまれていますので、いったん停止してグループワークに移りましょう。

動画の概要欄に、提起やグループワークの開始時間が記載されています。参考にしてください。

グループワークが終わったら再度動画を再生し、提起を聞いてください。

③写真や画面キャプチャ(オンライン開催の場合も含む)を行い、当日の様子が見られるものを残しましょう！

→後述の参加報告書の記入や、学びの様子を共有する際に活用できます！ぜひお願いします。

④企画1「日常にあるたすけあい」の時間について

→ワークを円滑に行うため、「日常生活で誰かをたすけた・だれかにたすけられた場面」を事前に考えてみましょう。日常生活の中での具体的なシーンを思い浮かべて、ワークに臨みましょう。

⑤企画4「つながる、想い」の時間について

→この時間の中で「分人会」が設定されています。「共済活動への想い」を聞く場面がありますが、会員生協内で実施の場合は、先輩学生委員やアドバイザー・職員など様々な階層から何名か、今まで共済活動をどのような想いで行ってきたのかを話していただきたいと思います。お話しする方を決めていただけると幸いです。

※分人会を行わない場合…

人数が少なく分かれられない場合は、どなたか一人の話を聞く時間にいただいても問題ありません。また、直接お話しいただくことが難しい場合は、冊子「語り継ぐたすけあいの想い vol.3」のP8～P10と、P57～77をお読みいただくことで、「共済活動への想い」を感じることができます。  
→共済担当者サポートページ>推進活動>語り継ぐたすけあいの想い よりダウンロード可能です。

● 学びの時間づくりの例

(1)【4つのセクションに分けて実施する場合】 ※これが最小単位になります！時間は目安です。

<p><b>所要時間</b> (20分)</p> <p><b>内容(セクション①)</b> 閉会式動画視聴</p>	<p><b>所要時間</b> (30分)</p> <p><b>内容(セクション②)</b> 企画③「改めて考えるぞ！」 ・大学生協共済についての説明 ・なぜ大学生協が共済に取り組むのか →アウトプットをしながら、大学生協の共済への理解とそれぞれの考えを深めていく時間です。  提起動画 15分 ワーク 15分(7分×2)</p>
<p>(40分)</p> <p>企画①「日常にあるたすけあい」 ・日常でたすけた/たすけられた経験は？ ・もし、たすけあいがなかったらどうなる？ →交流を通して、「たすけあい」の意義について深めていきます。  提起動画 10分 ワーク 30分(10分×3) ※WSを使用します！</p>	<p>(35分)</p> <p>企画④「いろんな人の想い」 ・大学生協共済に関わる様々な立場の人を知る ・それぞれにできることや持っている想いを知る →これをもとに、ともにどのようなことを行うことができるのか、それがなぜ必要かを考えます。  提起動画 15分 想いを聞く時間(分人会) 10分 ワーク 10分</p>
<p>(40分)</p> <p>企画②「たすけあいの広がり∞」 ・1対1のたすけあいから、「たすけあいの輪」へ ・たすけあいの輪はどのように広がっている？ →生活の中でのたすけあいの輪の広がりを実感する時間です。  提起動画 20分 ワーク 20分(10分×2) ※付箋を使用します！</p>	<p><b>所要時間</b> (30分)</p> <p><b>内容(セクション④)</b> 企画⑧「誰がなにをするの？」 ・ここまでの学びと自分の考えを整理する ・想い/取り組みを広げるためにできることを考える →共済セミナーの学びを取り組みへつなげて、たすけあいの想いを広げるために大切にしたいことを確認します。  提起動画 8分 ワーク 20分(10分×2)</p>
<p>(40分)</p> <p>企画⑤ 「大学生活に潜むケガや病気のリスク」 ・大学生活に潜むリスクを「じぶんごと」としてとらえる ・大学生活の実態を把握するには？ →自分自身の実感や、給付事例学習会などをもとに大学生活を見つめなおし、組合員の実態をとらえます。  提起動画 10分 個人ワーク 5分 グループワーク 25分(10分/25分)</p>	<p>(35分)</p> <p>企画⑨「自分の想いを持ち帰ろう」 ・自大学生協で取り組みたいことを考える ・それが共済セミナーで得たものとつながっているか確認する →第38回全国共済セミナーの学びを取り組みにつなげ、大学生協全体で取り組むための準備をする時間です。  提起動画 10分 ワーク 30分(10分×3) ※WSを使用します！</p>
<p>(35分)</p> <p>企画⑥「4本柱の時間」 ・共済活動の4本柱が一体になりで、どのようなものか ・組合員の健康で安全な生活を支える取り組みのために意識したいことはなにか →取り組みを知り、4本柱を軸にした共済活動が組合員の健康で安全な大学生活につながることを理解します。  提起動画 15分 ワーク 20分(意見交流)</p>	<p>(15分)</p> <p>閉会式動画視聴</p>
<p>(30分)</p> <p>企画⑦「作ってワクワク」 ・学生の生活実態をとらえること+4本柱を意識することを大切に、どんなことを行えるかを考える ・企画⑤と⑥で学んだことをアウトプット →ワークを行って、健康で安全な大学生活を支える取り組みにつなげるためのポイントを再確認します。  提起動画 10分 ワーク 20分(10分×2)</p>	



# 第 38 回全国共済セミナー 学びの進め方ガイド

(2)【1 日で実施しきる場合】※開始時間、終了時間は目安です。

時間	内容
10:00	開会式動画視聴
10:20	企画①「日常にあるたすけあい」 ・日常でたすけた/たすけられた経験は？ ・もし、たすけあいがなかったらどうなる？ →交流を通して、「たすけあい」の意義について深めていきます。 ※WSを使用します！
10:55	企画②「たすけあいの広がり∞」 ・1対1のたすけあいから、「たすけあいの輪」へ ・たすけあいの輪はどのように広がっている？ →生活の中でのたすけあいの輪の広がりを実感する時間です。 ※付箋を使用します！
11:30	休憩
11:40	企画③「改めて考えるぞ！」 ・大学生協共済についての説明 ・なぜ大学生協が共済に取り組むのか →アウトプットをしながら、大学生協の共済への理解とそれぞれの考えを深めていく時間です。
12:15	企画④「いろんな人の想い」 ・大学生協共済に関わる様々な立場の人を知る ・それぞれにできることや持っている想いを知る →これをもとに、ともにどのようなことを行うことができるのか、それがなぜ必要かを考えます。
12:55	お昼休憩

時間	内容
13:40	企画⑤ 「大学生活に潜むケガや病気のリスク」 ・大学生活に潜むリスクを「じぶんごと」としてとらえる ・大学生活の実態を把握するには？ →自分自身の実感や、給付事例学習会などをもとに大学生活を見つめなおし、組合員の実態をとらえます。
14:15	企画⑥「4本柱の時間」 ・共済活動の4本柱が一体なことで、どのようなものか ・組合員の健康で安全な生活を支える取り組みのために意識したいことはなにか →取り組みを知り、4本柱を軸にした共済活動が組合員の健康で安全な大学生活につながることを理解します。
14:50	休憩
15:00	企画⑦ 「作ってワクワク」 ・学生の生活実態をとらえること+4本柱を意識することを大切に、どんなことを行えるかを考える ・企画⑤と⑥で学んだことをアウトプット →ワークを行って、健康で安全な大学生活を支える取り組みにつなげるためのポイントを再確認します。

時間	内容
15:35	休憩
15:45	企画⑧「誰がなにをするの？」 ・これまでの学びと自分の考えを整理する ・想い/取り組みを広げるためにできることを考える →共済セミナーの学びを取り組みへつなげて、たすけあいの想いを広げていくために大切にしたいことを確認します。
16:20	企画⑨「自分の想いを持ち帰ろう」 ・自大学生協で取り組みたいことを考える ・それが共済セミナーで得たものとつながっているか確認する →第38回全国共済セミナーの学びを取り組みにつなげ、大学生協全体で取り組んでいくための準備をする時間です。 ※WSを使用します！
16:55	閉会式動画視聴
17:10	セミナー終了



(3)【2 日間に分けて実施の場合】※開始時間、終了時間は目安です。

時間	内容(1日目)
13:00	開会式動画視聴
13:20	企画①「日常にあるたすけあい」 ・日常でたすけた/たすけられた経験は？ ・もし、たすけあいがなかったらどうなる？ →交流を通して、「たすけあい」の意義について深めていきます。 ※WSを使用します！
13:55	企画②「たすけあいの広がり∞」 ・1対1のたすけあいから、「たすけあいの輪」へ ・たすけあいの輪はどのように広がっている？ →生活の中でのたすけあいの輪の広がりを実感する時間です。 ※付箋を使用します！
14:30	休憩
14:45	企画③「改めて考えるぞ！」 ・大学生協共済についての説明 ・なぜ大学生協が共済に取り組むのか →アウトプットをしながら、大学生協の共済への理解とそれぞれの考えを深めていく時間です。
15:20	企画④「いろんな人の想い」 ・大学生協共済に関わる様々な立場の人を知る ・それぞれにできることや持っている想いを知る →これをもとに、ともにどのようなことを行うことができるのか、それがなぜ必要かを考えます。
15:55	1日目終了

時間	内容(2日目)
13:00	はじめに、諸注意※動画はありません
13:10	企画⑤ 「大学生活に潜むケガや病気のリスク」 ・大学生活に潜むリスクを「じぶんごと」としてとらえる ・大学生活の実態を把握するには？ →自分自身の実感や、給付事例学習会などをもとに大学生活を見つめなおし、組合員の実態をとらえます。
13:45	企画⑥「4本柱の時間」 ・共済活動の4本柱が一体なことで、どのようなものか ・組合員の健康で安全な生活を支える取り組みのために意識したいことはなにか →取り組みを知り、4本柱を軸にした共済活動が組合員の健康で安全な大学生活につながることを理解します。
14:20	休憩
14:30	企画⑦ 「つくってワクワク」 ・学生の生活実態をとらえること+4本柱を意識することを大切に、どんなことを行えるかを考える ・企画⑤と⑥で学んだことをアウトプット →ワークを行って、健康で安全な大学生活を支える取り組みにつなげるためのポイントを再確認します。

時間	内容
15:05	休憩
15:15	企画⑧「誰が何をやるの？」 ・これまでの学びと自分の考えを整理する ・想い/取り組みを広げるためにできることを考える →共済セミナーの学びを取り組みへつなげて、たすけあいの想いを広げていくために大切にしたいことを確認します。
15:55	企画⑨「自分の想いを持ち帰ろう」 ・自大学生協で取り組みたいことを考える ・それが共済セミナーで得たものとつながっているか確認する →第38回全国共済セミナーの学びを取り組みにつなげ、大学生協全体で取り組んでいくための準備をする時間です。 ※WSを使用します！
16:25	閉会式動画視聴
16:40	セミナー終了



### 3. 学んだ後の動き編

#### ① 感想文を記入しましょう！

→学びの内容についての理解度や、参加者が学びの中で感じたことや考えたことを確認し、学びの振り返りに使用します。こちらスタッフオンリーページにアップされていますので、そちらからダウンロードし、各自記入をお願いします。全参加者に記入をお願いしていますので、周知していただけますと幸いです。

#### ② アンケートへ回答しましょう！

→セミナー全体についてお聞きする、参加者アンケートを作成しています。リンクは[こちら](#)です。  
閉会式動画の概要欄にも記載していますので、参加者へお知らせください。

#### ③ 企画の成果物を集めましょう！

→企画①と企画⑨のワークシートは、提出が必要です。参加者から回収をしていただくようお願いします。

#### ④ ブロックへ感想文と企画の成果物を提出しましょう！

→提出先はブロックごとに異なりますので、ブロックからの案内をご確認ください。  
すべての参加者のものを集約して、まとめてお送りいただけますと幸いです。

※今回は、セミナーへ参加してくださった方へ記念品(タヌロー名札ケース、タヌロートートバッグ)をお渡しします。

ブロックへの申し込み、感想文提出、アンケート回答、企画の成果物提出のすべてが必要となりますので、かならずお知らせいただき、提出をよろしく願いいたします。詳細は当日携行版も併せて、ご確認ください。

### 4. お困りごとは…

- 申し込み、アンケートの回答、成果物の提出などでお困りの場合は、各ブロック事務局へお問い合わせください。
- 企画の内容、学びの進め方、その他セミナー全般に関することは、第 38 回全国共済セミナー事務局 [zenkyousemi@univ.coop](mailto:zenkyousemi@univ.coop) (菅野・田中)までお問い合わせください。